

1カ月の視察を終え、タイ看護師帰国

11月1日に来日したメーサイ病院の透析部門の看護師、ティチパン・チャンパンさん=愛称マイ=と救急部門の看護師サタヤ・ピンタさん=愛称エー=が、城西病院での1カ月の視察を終え、11月30日に帰国します。

2人は、かねてから日本での視察を希望し、念願かなって視察メンバーに選ばれたといいます。城西病院の透析センターや病棟、手術室を中心に視察、社会福祉法人 筑西会の高齢者福祉施設もメモを片手に熱心に視察しました。

視察を通し、マイさんは「病院には託児所やトレーニングルームも付属し、とてもうらやましい。メーサイ病院の透析は2年前に始まったばかりで、1日10人しか受けられない。でも、200人が予約しており、もっと広げていきたい。何より日本の先進的なシステムを入れたい」、エーさんは「職員がアットホームで、病院の医療も高い技術を持っている。メーサイ病院では救急の患者が多い。外来と救急の診療室が一緒で、タイはもちろん、ミャンマーやラオスからも患者が来る。病院に行く患者は1日かかり。城西病院では受付が1枚のカードででき、診療もスムーズ。城西病院の受付や診療のシステムを取り入れたい」と話していました。

平成 28 年 11 月 28 日



高齢者福祉施設の「ヒューマンハウス」と「すばる」を視察する2人



エーさん



マイさん



茨城新聞の取材に答える2人